

「駭獣の群」

与謝野晶子 1915年12月12日

ああ、此国の

怖るべく且つ醜き

議会の心理を知らずして

衆議院の建物を見上ぐる勿れ。

禍なるかな、此処に入る者は悉く変性す。

此処にいる者は

民衆を代表せずして

私党を樹て、

人類の愛を思はずして

勤物的利己を計り、

公論の代りに

私語と怒号と罵声とを交換す。

われわれの正義と愛、われわれの血と汗、われわれの自由と幸福は

最も臭く醜き

彼等駄獣の群に

寝藁の如く踏みにじらるる……